

第 16 回 AAAP 大会参加報告

宇都宮大学大学院 農学研究科 生物生産科学専攻

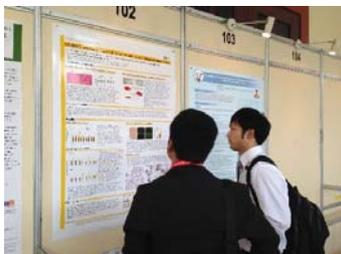
修士 1 年 藤田優平

この度、2014 年 11 月 10 日から 14 日、インドネシア ジョグジャカルタにあるガジャマダ大学で開催された第 16 回 AAAP 大会に参加し「APOBEC2 Deficiency Causes Increased Autophagy and Abnormal Mitochondria in Skeletal Muscle」というタイトルでポスター発表を行いましたのでご報告いたします。

【発表の概要】

骨格筋は動物の身体で最大の器官であり、運動やエネルギー代謝を行うなど重要な役割を果たしています。骨格筋量の減少メカニズムが解明されることで、ヒトでは老化による筋萎縮の予防、糖尿病など代謝疾患の改善などの応用が、家畜では畜肉の生産量の増加が期待できます。筋特異的脱アミノ化酵素である APOBEC を欠損すると、骨格筋の萎縮や筋疾患になることがわかっていますが、そのメカニズムは解明されていません。本研究では APOBEC2 欠損マウスの骨格筋中で、ミトコンドリアのオートファジー（マイトファジー）が亢進していることを明らかにしました。また、メタボローム解析の結果から、APOBEC2 欠損マウスでは、ミトコンドリアに関係する代謝物に変化があることを突き止めました。

【発表の様子】



牛や鶏、ヤギなどの家畜を取り扱った発表が多く、私たちのようにマウスを扱った研究は異分野であるように感じました。しかし、ポスター発表では、他分野の研究者の方々や現地の大学生の方などからアドバイス等をいただくことができました。海外の方とのコミュニケーションの手段として、英語を話すことは絶対に必要だと実感しました。今後、研究を進めていくにあたって多くの課題を見つける機会となりました。

【大会の感想】

第 16 回 AAAP 大会では、11 日および 12 日のオーラルセッション終了後に、ウェスカムディナーとカルチュラルナイトがそれぞれ開催され、インドネシアの伝統的な歌や踊りが披露され、会場は活気に満ち溢れていました。また、13 日に行われたフィールドトリップでは、ボルブドゥール遺跡へ赴き世界遺産の壮大さと歴史について学ぶことができました。すべてが初めての出来事で、私に



にとって大変貴重な経験となりました。最後に、本大会の参加にあたりプレゼンテーションアワードを授与してくださった日本畜産学会の関係者の皆様、大会中にお世話になった諸先生方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。